

## [03\_06]九州大学大型計算機センター広報 : 3(6)

<https://doi.org/10.15017/1467971>

---

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (6), pp.1-70, 1970-12-18. 九州大学大型計算機センター  
バージョン :  
権利関係 :

## 他センターからのお知らせ

北海道大学大型計算機センター、名古屋大学大型計算機センターから下記のようにお知らせがありました。

### 北海道大学大型計算機センターの利用について

昭和45年4月、北海道大学に全国共同利用大型計算機センターが設置され、FACOM 230-60二重処理装置システム（主記憶 160KW）が稼動しております。本年6月8日より計算サービス業務を開始し、8月10日より負担金徴収を行っております。

10月19日現在、利用申請件数は

第1地区 468件

第1地区外 11件

現在、日に200件くらいの計算処理を行っておりますが、10月1日より夜9時まで夜間運転を開始しましたので、計算処理能力に割合ゆとりがあります。

北海道大学大型計算機センターは第1地区以外の計算サービス業務を計算時間（CPU時間）30分以上のジョブについて行っております。上で述べましたように夜間運転を開始しましたので、比較的短いターンアラウンドタイム（2日以内）で計算処理できますので、計算時間の長いジョブをお持ちの利用者は北海道大学大型計算機センターを御利用ください。

以下、第1地区以外の利用者が北海道大学大型計算機センターを利用する際の要点だけを述べます。詳細は 共同利用部（Tel 011-711-2111内線2948）に問い合わせるか、またはセンターニュースを御覧ください。

#### 1. 利用の原則

第1地区以外の利用は計算時間（CPU時間）30分以上のジョブ（「個別ジョブ」と呼んでいます。——ジョブ種別記号C）とします。したがって、計算時間が30分以下のジョブは認めておりません。但し、個別ジョブの実行に伴うデバックが、テストデータ等による30分以下の計算は差し支えありません。

#### 2. 利用申請

北海道大学大型計算機センター利用希望者は「北海道大学大型計算機センター利用申請書」と同時に「個別ジョブ申請書」に必要事項を記入し、所属連絡所に提出して下さい。「個別ジョブ申請書」のないものは認めませんので必ず「利用申請書」と同時に提出して下さい。

「申請用紙」は各地区協事務局に御請求ください。

### 3. 計算依頼及びジョブの輸送について

北海道大学大型計算機センターでは、直接センターへ来られないで計算依頼する方の便宜をはかるため遠隔地係を設けております。

カードデッキ等も計算依頼の度に送らず、必要なものだけ送るなりして、遠隔地係と連絡を取りながら計算を遂行できるようになっております。したがって、計算実行に伴うパンチ依頼、計算依頼は一切遠隔地係に行なってください。

現在、第1地区以外の方のジョブ数も多くありませんので、北海道大学大型計算機センターへジョブを送るのは利用者の負担で行なってもらっております。センターからの発送はセンター負担です。

### 4. 利用者旅費について

第2地区～第7地区利用者を対象に20名の利用者旅費のワク（期間45年8月～12月、現在まで4名利用）を用意してございますので、利用者旅費を希望する方は、所属地区協に申し出て下さい。1月から3月の間に出張希望する方は、12月までに予定を申し出てください。

札幌滞在期間は3日～5日となっております。センターで泊ることのできる室をお世話出来ますので、希望の方はセンター総務掛（TEL2923）にお申し出ください。

### 5. 負担金について

昭和45年8月10日より下記の要領で負担金を徴収しております。

1) 演算時間（CPU時間）	1秒につき	3円33銭
2) 出力時間	〃	83銭
3) 依頼穿孔カード	1枚につき	2円

なお、1秒以下切り上げで負担金を計算します。

### 6. その他

利用に伴う詳細は共同利用部へ問い合わせてください。「センターニュース」、「利用の手引き」等も用意してありますので、希望者は共同利用部へ請求してください。

## 名古屋大学大型計算機センターニュース発刊のお知らせ

昭和46年度より名古屋大学に全国共同利用のための大型計算機センターが設置される運びとなりました。現在、明年秋よりの正式稼働を目標に FACOM 230-60 (SYS-I) と FACOM 230-35 (SYS-II) の2システムの導入のための各種準備作業と、センター建物の建設が進められつつあります。

これらの設置準備状況や、当センターの特色等を利用者の皆様にお知らせするため、「名古屋大学大型計算機センターニュース」の創刊号が10月末に発行されました。第4地区協の利用者と各地区協、各大型計算機センター等には既にこのニュースをお配りしてあります。この他にも関心をお持ちの方のために残部を用意してありますので、入手を御希望の方は下記宛てにお申し込みください。

なお、センターニュースの第2号は利用方式の解説を中心として昭和46年3月頃に発行される予定です。

センターニュース配布申し込み先（送り先、部数等、明記して下さい）

名古屋市千種区不老町

名古屋大学庶務部庶務課気付

名古屋大学大型計算機センター設置準備委員会